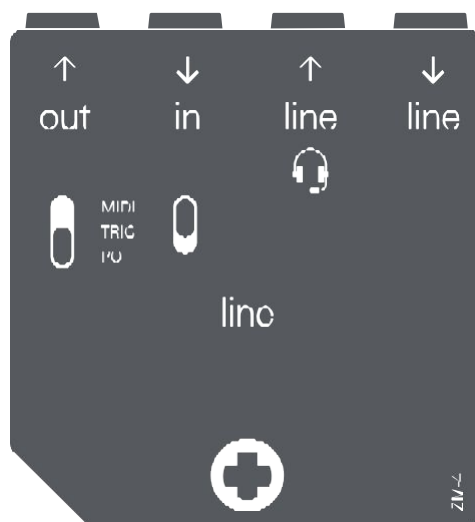


line module

OP-Z用オーディオ
拡張モジュール

ユーザーガイド

v. 1.0



はじめにお読みください

line moduleの3.5mmインプットに、サウンドカードやミキサーのマイク入力から供給されるファンタム電源は絶対に供給しないでください。line moduleが破損する恐れがあります。

このデバイスは、FCC規則のパート 15に準拠しています。動作は、次の 2つの条件の下で行われます。

- (1) 本デバイスが有害な障害を生じないこと
- (2) 本デバイスの動作に望ましくない影響が及ぶような干渉を含め、本デバイスが受信するあらゆる干渉を受け入れること。

このデバイスは、Industry Canadaライセンス免除のRSS規格に準拠しています。line moduleの動作は次の2つの条件に従います。

- (1) 本デバイスが有害な障害を生じないこと
- (2) 本デバイスの動作に望ましくない影響が及ぶような干渉を含め、本デバイスが受信するあらゆる干渉を受け入れること。

FCC ID: Z23012A
IC: 9915A-012A

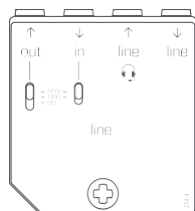
保証: ラインモジュールは完全に工場ですべてのテストされ、購入日から12ヶ月の保証が付いています。デバイスのコネクタに不適切な電圧を供給したり、改造、落下、粉砕などの物理的な破損、デバイスの誤用による故障は含まれません。コネクタに不適切な電圧を印加したり、不適切な設計や改造をした状態で使用しないでください。

静電気に弱い部品には触れないようにし、静電気放電に注意してください。不適切な取り扱いによる製品の静電気放電は、一般保証の対象外です。

送料は保証の対象外です。必ず当社ウェブサイトの[規約](#)をお読みください。

同梱物

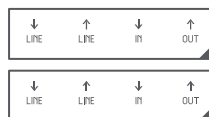
パッケージに、以下内容が含まれていることを確認してください



line module



ユーザーガイド

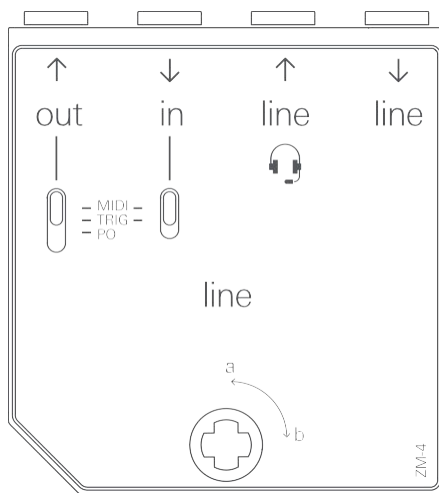


コネクターシール

インターフェイス

アウト/イン・モード

左側のスイッチで出力信号を選択: MIDI、TRIG、PO (Pocket Operator)
右側のスイッチで入力信号を選択: MIDI、TRIG



<

コネクター

ラインアウト: 3.5 mm ステレオ音声出力 + ヘッドセットソケット

ラインイン: 3.5 mm ステレオオーディオ入力。

ロックスイッチ

モジュールをセットする前に、(a)にロックスイッチを開いておく必要があります。正しくセットされ (b)に回すと、モジュールが起動し、正しくロックされます。

仕様

ラインアウト: 2.2 dBu
(2.8V peak-to-peak)

ラインイン: 2.2 dBu
(2.8 V peak-to-peak)
最大: 13.2 dBu (10 V peak-to-peak)

midi out:
電圧範囲: 0~+5V

trig out:
電圧範囲: 0~+5V

po out:
電圧範囲: 0~+3.3V

midi in:
電圧範囲: -10~+10V

trig in:
電圧範囲: -10~+10V

注: 最大定格は、損傷が発生する可能性のある限度を示しています。外部機器をラインモジュールに接続する前に、必ずその機器の電圧レベルを確認してください。

接続

1



2

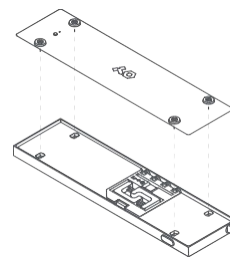


3



-90° X4

4



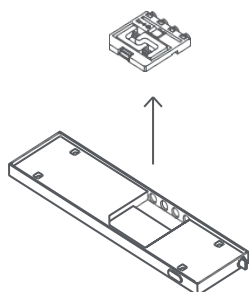
OP-Zを1.2.40以降にアップデートしてください。最新のファームウェアファイルは、[こちら](#)からダウンロードできます。

本機の故障やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずOP-Zの電源を切ってから本機を挿入してください。

OP-Zの裏側にある4つの黄色いゴム製ロックを、それぞれ反時計回りに90度回転させます。

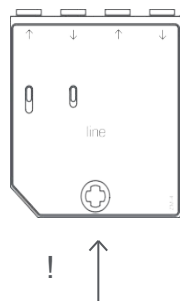
OP-Zのバックプレートを外します。

5



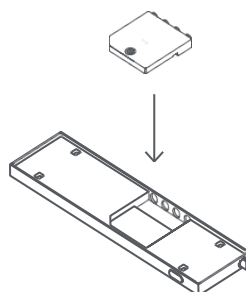
ダミーモジュールを取り外します。レゴの脚を折り、次にOP-Zを開けるときのドライバーとして使用します。

6



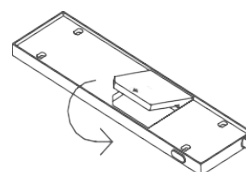
モジュール取り付け前にロックを確認します。を反時計方向に回しきってください。

7

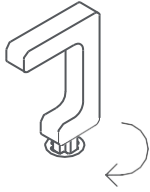


表示が手前にあり、角の部分が左側にあることを確認してください。

8



最初に上部から挿入します。ソケットはOP-Zの上面にある穴を通す必要があります。下部を押してモジュールをセットします。



工具を使い、ロックを時計回りに90度回転させ、モジュールを固定します。ペアリングボタンの位置を合わせて、バックプレートを元に戻します。

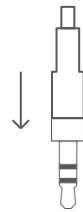
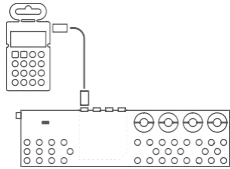


これで、ラインモジュールの使用準備は完了です。

OP-Zおよびモジュールの最新ファームウェアは、定期的にホームページでご確認ください。

teenageengineering.com/download

ライン・イン



インプット

ライン入力に、シンセサイザー、エフェクター、コンピュータなど、ラインレベルのオーディオ出力がある機器に接続します。

ライン入力信号は、モジュールトラック(トラック14)を経由して入り、他のオーディオトラックと同様に、エフェクトやテープへの送信を含むコントロールとルーティングが可能です。

インプット・ボリューム

ボリュームを調整するには、まずトラックを押したままモジュールキーを押してモジュールトラックを選択し、shiftを3回タップしてから赤いダイヤルを回してください。

信号がない場合、オーディオが実際にソースから再生されているか、ボリュームとフィルターのダイヤルが小さくなっていないことを確認してください。

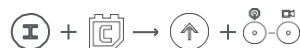
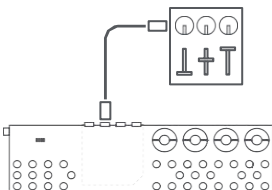
アクティブ・インプット

入力ソケットに何かを接続すると、すぐにモジュールの入力ソースが自動的にアクティブになります。ただし、Shift + 4(トラック14)を使用してオフ/オンを切り替えることができます。

モノラル・モード

入力のデフォルト設定はステレオ信号ですが、ケーブルを挿入するときに画面=を押し続けると、入力がモノラルに設定されます。入力の左チャンネルがOP-Z内のLチャンネルとRチャンネルの両方に送信されることを意味します。これは、モノラルソースを使用する場合に便利です。

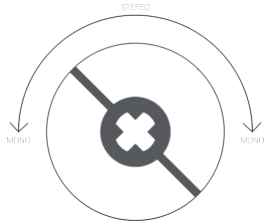
ライン・アウト



ライン・アウト

ライン出力を、ミキサー、オーディオインターフェイス、シンセ、エフェクターなど、ラインレベルのオーディオ入力があるものに接続します。

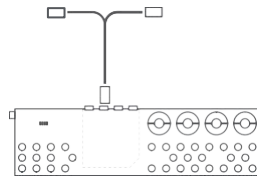
ラインアウトは、OP-Zのモジュール・トラック(トラック14)を介してアクセスします。モジュール・トラックを経由したオーディオ・トラックは、モジュール・アウトプットから送信されます。



トラック・アサイン

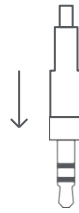
ルーティングするトラックを選択するには、まずtrackを押しながらmoduleキーを押して、モジュールトラックを選択します。

shiftを押しながらオーディオトラックボタンを押して、送信するオーディオトラックを選択します。このプロセスは、エフェクトやテープトラックのルーティングと同様です。



モジュール・センドレベル

shiftボタン+オーディオトラックボタンを1秒間押し、緑のダイヤルを回してそのトラックのモジュール・センドレベルを調整します。



ドライ・レベル

トラックエボタンを押しながら赤いダイヤルを回すと、メインミックスへのモジュールトラックの出力レベルを調整することができます。これを0に設定すると、モジュールにルーティングされたトラックがメインミックスから完全に削除され、モジュール出力でのみ再生されます。

ステレオ／モノ

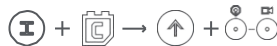
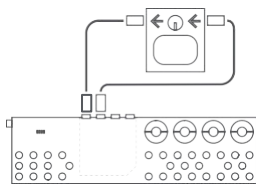
ラインアウトはステレオ出力ソケットで、左右両方のチャンネルを使用します。パンニングはルーティングされたトラックに適用されます。左または右にハードパンすることで、出力を2つのモノチャンネルとして使用できます。

プロのヒント:キックを左端までパン、スネアを右端までパンし、両方をモジュール出力にそれぞれ送信し、[ステレオスプリッターケーブル](#)を使用して別々にルーティングします。

モノ・モード・アウト

画面を押しながらケーブルを挿入すると、出力がモノモードに設定されます。これは、OP-Zの左右両方のチャンネルが出力のLチャンネルにのみ送信されることを意味します。これは、モノラルギターペダルを外部エフェクトとして使用する場合に便利です。

エフェクト・ループ



外部エフェクトの使用

line moduleを使用して外部エフェクトループを設定するには、モジュールライン出力を外部エフェクト入力に接続します。外部エフェクトからの出力は、ラインモジュールラインに接続します。

トラックアサイン

ルーティングするトラックを選択するには、最初にトラックを押したまま、モジュールキーを押してモジュールトラックを選択します。

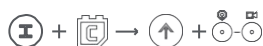
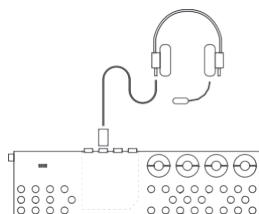
Shiftキーを押しながら、オーディオトラックボタンを押して送信するオーディオトラックを選択します。

モノ・モード

信号がモノラルの場合、またはモノラルケーブルを使用している場合は、画面を押しながらケーブルをモノラルモードのモジュールに挿入します。

注:一部のギターペダルにはモノラルケーブルが必要です。ステレオケーブルでは、ペダルが検出できない場合があります。

ヘッドフォン・キュー



ヘッドフォンの使用

モジュールのライン出力ソケットにヘッドフォンを接続することで、メインミックスに送信する前に、ヘッドフォンを使用してトラックを事前に聞くことができます。

これは、ライブで新しい要素をミックスに追加する際に便利です。

プリ・リッスン

事前に聞くためにトラックを頭出しするには、最初にトラックを押したまま、モジュールキーを押してモジュールトラックを選択します。

トラックを保持し続け、赤を0に変えて、ドライレベルをオフにします。

Shiftキーを押しながら、オーディオトラックボタンを押して、キューに入れるオーディオトラックを選択します。

トラック準備

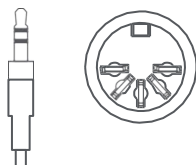
トラックは、ヘッドフォンでモニターができるので、必要に応じて準備することができます。

ミックスの割り当て

メインミックスにトラックを導入する準備ができたなら、track を押しながら module キーを押します。次に shift を押しながら、キューから削除してメインミックスに出力するオーディオトラックを選択します。

インプット

インプットには2つの機能があり、直下のスイッチで選択することができます。



MIDI

OP-Zを制御するためのMIDI入力。入力は標準的なTRS MIDI Type-A 3.5mmコネクタのピンアウト(ティップ=ソース、リング=シンク)を使用します。ステレオケーブルを使用する必要があります。

[MIDIコントロール](#)の詳細については、OP-Zのマニュアルを参照してください。

注: TRS MIDI Type-Aは、非標準のピンアウトであるType-Bを使用する機器とは互換性がありません。

5ピンDINのMIDIソケットが必要な場合は、[オプションのMIDIケーブルをご利用ください](#)。

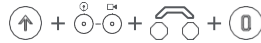
TRIG

OP-Zシーケンサーのトリガー入力(0~10V)。この入力は、OP-Zシーケンサーのシングル・ステップ・トラックに使用されます。トラックをシングルステップで動作させるには、ステップレングスを0に設定します。trackとshiftを押したままzeroを押します。詳細は[こちら](#)。

シングルステップのアームトラックに、5~10Vのパルスを入力します。多くのシンセサイザーやドラムマシンからの「gate」または「trig」出力は正常に機能します。入力はコネクタのティップのみを使用するため、モノラルケーブルが利用できます。

アウトプット

この出力には3つの機能があり、直下のスイッチで選択することができます。



MIDI

OP-ZからのMIDI出力は、MIDI INと同じですが、OP-ZのすべてのトラックからのMIDIデータが出力されます。

MIDIコントロールの詳細については、OP-Zのマニュアルを参照してください。

TRIG

トリガー出力(0または+ 5V)。この出力は、ドラムシンセ、アルペジエーター、ゲート入力などをトリガーするのに適した短いパルスを送信します。リングは、シーケンサーへの出力時にハイ(+ 5V)、ロー(0V)のスタート/ストップを送信します。この出力は、多くのシーケンサーの動作またはリセット入力をコントロールできます。

ステップ信号をトリガー出力するには:

- 任意のオーディオトラックを選択する
- shiftを押し続ける
- ステップ1~16選択
- jumpを押す
- バリュースキー0を押す
- shiftを離す
- playを押す module ledを確認する

PO

Pocket Operatorおよび互換性のある機器を接続する場合は、line moduleのスイッチをPOに設定します。

Pocket OperatorをOP-Zに同期するには:

- line moduleアウトとPOイン(左側)を接続する
- POをSY2またはSY3に設定する
- POを再生する
- OP-Zを再生する

コネクタ仕様

socket	line in	line out	in		out		
mode	-	-	midi	trig	PO	midi	trig
tip	left	left	sink	trigger	sync	sink	trigger
ring	right	right	source	start/stop	-	source	-
ring	-	ground	-	-	-	-	-
sleeve	ground	mic	-	ground	ground	ground	ground